

第 4 回 NRI 会議報告

開催日時：4 月 28 日 22 時-

日本からの参加者：加藤

議題

1. Welcome and introduction
2. Debrief from the 2nd Open Consultations and MAG Meeting
3. NRIs Main Session: description and policy questions review & finalisation
4. NRIs document on WSIS+20 finalisation
5. Any Other Business (AoB)

議事メモ

- NRIs のメインセッションは 75 分間を予定しており、6 月 26 日（木）午後 2 時（現地時間）に開催予定。
- セッションの草案は、[Google ドキュメント](#) で確認できる。
- セッションの説明と 5 つの政策質問は、グループ全体で概ね承認されている。
- 会議中に質問の表現に関するいくつかの提案がなされた。これらの変更は Google ドキュメントのトラック変更機能で反映されている。
- セッションは昨年と同じ形式で進行する：最大 7 名の発表者が概要を説明した後、オープンディスカッションが行われる。発表時間は事前に調整される。
- 5 月 5 日（月）終日までに、すべての NRIs は（各 NRI の）マルチステークホルダー組織委員会と協議の上、以下の事項を実施してほしい：
 - Google ドキュメント内のセッション説明と policy question（法的規則や政策の背後にある根本的な理由、原則、または目的を理解することを目的とした質問）の提案変更を確認
 - タイトルの提案
 - 第 1 セッションセグメントの専門家スピーカーの候補者を提出
 - 現地モデレーターの候補者を提出
 - オンラインモデレーターと報告者の候補者を提案

意見は、Google ドキュメントの提案モードで直接入力可。[IGF 2025 NRIs Main Session](#)

また、MAG は「WSIS および GDC の実施における IGF の役割：マルチステークホルダー主義の成果とインターネットおよび IGF の将来」と題したメインセッションを準備している。事務局は、重複を避けるため、このグループに NRI メインセッションの焦点について情報を提供し、2 つのグループ間の連携を促進する。

時間切れで他のセッションの議論はできなかったと思われるが、以下のセッションについて同様に 5 月 5 日までの確認が求められた。

- [IGF 2025 NRIs session DATA](#)
- [IGF 2025 NRIs session CYBERSECURITY](#)
- [IGF 2025 NRIs session ACCESS](#)

参考までに、以下はメインセッション草案の機械翻訳である。

IGF 2025 NRIs メインセッション – 草案提案の要約

セッションの焦点:

このセッションは、インターネットおよびデジタルガバナンスにおけるマルチステークホルダーアプローチの強化をテーマに 75 分間行われます。NETmundial+10、Global Digital Compact (GDC)、WSIS+20 レビュー、2030 年アジェンダなどの主要な国際プロセスを考慮に入れながら議論を進めます。

セッション詳細:

- 日時：2025 年 6 月 26 日（木）14:00～（75 分間）
- 会場：プレナリーホール（ホール B、収容人数 1700 席）
- 通訳言語：国連の 6 つの公式言語で通訳

提案タイトル例：

1. 2030 年以降に向けたマルチステークホルダーガバナンス

2. 持続可能な発展のためのマルチステークホルダーガバナンスの調和：2030 年以降へのビジョン
3. NETmundial+10、Global Digital Compact、WSIS+20 レビューの統合を通じた対話の推進
4. 地方コミュニティネットワークの革新を通じた未接続地域の接続促進
5. 各国・地域の AI 政策および国家 AI 戦略の推進
6. 相互運用法と戦略的議会の承認
7. 協力型デジタルガバナンス：包摂的、多様で持続可能なインターネットの構築

セッションの概要:

このセッションでは、国連主導のプロセス内におけるインターネットおよびデジタルガバナンスにおけるマルチステークホルダーアプローチの有効性を評価します。WSIS プロセス開始から 20 年、2030 年アジェンダから 10 年以上が経過した今、達成された成果や引き続き残る課題（ジェンダーギャップなどのデジタル格差拡大）に焦点を当てます。

世界中の 176 のナショナル IGF (NRIs)、リージョナル IGF、ユース IGF の専門家からの証拠に基づいた洞察を取り上げ、包摂性、開放性、透明性の重要性を再確認します。さらに、インターネットプロトコルの進化や AI などの新技術への対応を含むガバナンス構造の適応策を探ります。

主要な政策ガイドラインの質問例：

1. WSIS+20 レビューや GDC などの国連主導プロセスにおいて、包括的で透明性の高い効果的なガバナンスを実現するために、マルチステークホルダーアプローチをどのように強化できるか？
2. アカデミア、政府、規制当局、市民社会、技術コミュニティ、民間セクターなどの参加を促進するための具体的な手法とは？
3. NETmundial+10 のサンパウロ・マルチステークホルダー・ガイドラインを活用して、国内・地域・グローバルレベルでのガバナンス構造をどのように強化できるか？
4. AI やインターネットプロトコルの進化などの新技術に対応するために、マルチステークホルダーアプローチをどのように適応させるべきか？
5. NRIs の経験から得られた成功事例や教訓をどのようにして世界規模で再現・拡大できるか？

このセッションは、SDGs に沿った包括的なデジタル未来の構築に向けたマルチステークホルダー協力とデジタル協力の強化に向けた具体的な提案を強調します。